

こんなとき
どうしたら...
D.からのアドバイス

私の腎臓は大丈夫？

蛋白尿（尿に蛋白が出る）：健康診断や検診で蛋白尿が指摘されました。
私の腎臓は大丈夫でしょうか？

Q1 症状のない蛋白尿は放置してもよいですか？

A 尿蛋白の検査は、健康診断や学校検診、一般的な外来診療で日常的に行われています。健康な人でもわずかながら尿に蛋白が出ていますが、通常の尿検査で陽性になることはありません。1日の尿中の蛋白量が150mgを超えると尿検査で陽性となり蛋白尿がでているといえます。

蛋白尿は、立ちあがったときや運動したときなどにみられる生理的蛋白尿と病的蛋白尿に分けられます。朝一番の尿（早朝尿）で再検査をして尿蛋白が陰性であれば、生理的蛋白尿の可能性が高く、特に心配ありません。逆に早朝尿で蛋白尿がでる場合や蛋白尿が持続するときは病的蛋白尿が疑われます。病的蛋白尿の中で最も多いのが、腎臓そのものの障害による糸

球体性蛋白尿で、慢性腎炎が代表的な疾患です。また最近増えている糖尿病や高血圧による腎障害が原因で蛋白尿がでることもあります。特に慢性腎炎などの腎疾患が疑われて尿蛋白の量が多い場合は、腎臓の組織をとる検査が必要となる場合があります。

腎臓病の多くは、はじめのうちまったく自覚症状がなく、蛋白尿だけが唯一の異常所見となることがあります。このため健康診断を定期的に受けること、尿検査で尿蛋白を指摘された場合は、症状がないからといって放置せず医療機関を受診し、以上に述べたどの蛋白尿にあたるかを診断してもらい、適切な治療を受けるようにして下さい。

腎臓病の多くは
はじめのうち自覚症状がありません。

Q2 慢性腎臓病という言葉を目にしますが何のことでしょうか？

A 最近、慢性腎臓病（Chronic Kidney Disease : CKD）という新しい病気の概念が注目されています。慢性腎臓病とは、腎臓の働き（GFR）が健康な人の60%以下に低下する（GFRが60ml/分/1.73m²未満）か、あるいは蛋白尿が出るといった腎臓の異常が続く状態を言います。

慢性透析患者は26万人を超え、さらに毎年約1万人前後増え続けています。今や、国民の500人に1人が透析を受け、透析にかかる医療費が年間1兆円を超える時代を迎えていることになりました。透析導入の最大原因である糖尿病性腎症がますます増加する勢いにあることを考えますと、末期腎不全患者数を減らすことの必要性は待ったなしの状況にあります。

さらに、慢性腎臓病では、心臓病や脳卒中などの心血管疾患にもなりやすいことが明らかになっており、いかに慢性腎臓病を治療し、心血管疾患を予防するかが大きな問題となっています。

今月のドクター



岐阜市民病院 腎臓内科部長
兼 腎臓病・血液浄化センター長

高橋 浩毅氏

(たかはし ひろたけ)

平成2年鳥取大学医学部卒。
岐阜大学医学部附属病院を経て平成13年より岐阜市民病院に勤務。
日本腎臓学会腎臓専門医、日本透析医学会透析専門医